



県議会ふくしま

6月定例会の概要(6/21〜7/6開催)

第74号

企画・編集
福島県議会
広報委員会

〈広告〉



ふくしまからはじめよう。

44件の議案を可決!! 22億5500万円の補正予算など

今年度最初の6月定例会では、知事提出議案として、22億5500万円に上る一般会計補正予算のほか、「福島県ポットテストワールド条例」など条例に関する議案12件、「公の施設の指定管理者の指定について」などその他の議案24件、議員提出議案として「地域の中小企業小規模企業への支援充実を求める意見書」など国へ提出する意見書7件、「ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシーを求める意見書の提出について」の請願1件をそれぞれ可決・承認・同意・採択しました。

補正予算の主な内容
総額22億5,500万円

Jヴィレッジ
復興再整備事業 2,082万円
Jヴィレッジの全面営業再開やJR常磐線新駅設置などを見据え、幅広く活用方策を検討

福島インバウンド
復興対策事業 1,235万円
ユネスコ・パリ本部で開催される「日本へのクリエイティブな旅展」に出展し、欧州から本県への観光客の誘客を促進

公共事業・県単公共事業・維持補修費 19億755万円
国の交付金等を活用した道路、河川及び港湾の整備を推進

議員定数等検討委員会が答申



議員定数等検討委員会の答申

7月5日、議員定数等検討委員会(斎藤健治委員長)を開き、昨年3月から検討を進めてきた次期一般選挙における定数等について、特例法を適用する区域を双葉郡8町村、南相馬市及び飯館村とする。とともに、郡山市選挙区を1増の定数10、喜多方市・耶麻郡選挙区を1減の定数2とする答申案を決定した。

委員を終了後、斎藤委員長、西丸武進副委員長が吉田栄光議長に答申した。

答申案を協議する議員定数等検討委員会



答申案を協議する議員定数等検討委員会

定例会での主な質疑

風評・風化対策

質疑 風評・風化対策にどのように取り組んでいくのか。

答弁 風評・風化対策強化戦略(第三版)に基づき、県産品の販路拡大や観光誘客、教育旅行の回復がより一層図られるよう、ブランド力強化、ホープツーリズム推進、全国展開企業との情報発信タイアップ、市町村と連携した県内外での魅力発信イベント実施など、更なる対策を講じながら、様々な皆さんとともに取り組んでいく。

尾瀬の保護と魅力発信

質疑 尾瀬の自然保護と魅力発信にどのように取り組んでいくのか。

答弁 新たに県内高校生等を対象としたモニタリングによるSNSでの魅力発信、旅行雑誌等の特集記事掲載のほか、参加体験型野外イベントを開催する。今後も尾瀬の自然環境を守り、次の世代にしっかりと引き継ぐとともに、「ふくしま尾瀬」の魅力がより多くの方々に届く効果的な情報発信に取り組んでいく。

海外からの誘客促進

質疑 観光による地域経済の活性化を図るため、海外からの誘客促進にどのように取り組んでいくのか。

答弁 観光資源の磨き上げや受入体制整備、動画やSNSを活用した情報発信に力を入れていくとともに、この秋、「サムライ」をテーマとしたツアーを実施する。引き続き国際チャーター便の誘致にも取り組むなど、市町村や地域の皆さんとともに外国人観光客の誘客拡大に取り組んでいく。

県立学校ブロック塀の安全確保

質疑 県立学校のブロック塀を点検し、安全対策を講じるべきと思うが、考えを尋ねる。

答弁 緊急点検の結果、建築基準法の基準に適合していないものや傾斜、ぐらつきがあるものが確認されたことから、緊急措置が必要なブロック塀の撤去等を行うとともに、その他についても速やかに専門的な調査を行い、必要な安全対策を講じていく。

Jヴィレッジの再開と地域振興

質疑 Jヴィレッジを核とした地域振興にどのように取り組んでいくのか。

答弁 様々な競技の合宿利用や復興ツーリズム、教育旅行など人々が集う拠点としての利用を促進していくとともに、全面再開や新駅開業を見据えた施設の幅広い活用を検討し、地域の中核的な施設としてスポーツ振興

児童相談所の体制強化

質疑 本県における児童虐待件数の増加を踏まえた児童相談所の体制強化について尋ねる。

答弁 市町村や学校、病院等とのネットワークに参画し地域との連

県立高校の学科配置

質疑 県立高等学校

故三村議員を追悼

6月21日、本会議で故三村博昭議員(白河市・西白河郡選挙区)へ黙とうをささげた後、満山喜一議員が追悼演説を行った。

また、三村議員の逝去に伴い、会派構成が次のとおりとなった。

定数58人、現員53人(自由民主党26人、県民連合18人、日本共産党5人、公明



故三村議員の追悼演説

政務活動費 検討会を開催

6月25日、政務活動費検討会(小松山善継会長)を開き、平成29年度政務活動費収支報告書等について協議・確認した。

東電が第二原発廃炉 検討を議長に表明

定例会に先立つ6月14日、東京電力の小早川社長は、吉田栄光議長と柳沼純子副議長に福島第二原発

原発事故の 教訓を世界へ

6月26日、議員勉強会を開催し、福島県立医科大学副学長(国際担当)の山下俊一氏を講師に迎え、原発事故後の放射線被ばくに関する風評の原因や福島



議員勉強会

3常任委員会が 現地調査



ブロック塀を調査する商労文教委員会



磯部水産加工施設を調査する農林水産委員会



市道大洲松川線を調査する土木委員会

7月2、3日の2日間、6常任委員会は議案審議

を受け、緊急に県立学校の現地調査を行った。

3日は、農林水産委員会

馬市の松川浦漁港や磯部水産加工施設を調査また、土木委員会(小林昭一委員長)は今年3月に復旧工事が完成した相馬市の松川大洲地区海岸、大浜地区海岸、市道大洲松川線などを調査した。

可決した国への意見書

(平成30年7月6日、国へ提出)

- ① 地域の中小企業・小規模企業への支援充実を求める意見書
- ② 「復興・創生期間」後を見据えた福島県の復興加速化の推進を求める意見書
- ③ ライドシェアの導入に反対するとともにタクシー事業の適正化・活性化の推進を求める意見書
- ④ 日本年金機構の情報管理体制の抜本的見直しを求める意見書
- ⑤ 旧優生保護法による不妊手術の被害者救済を求める意見書
- ⑥ ヘルプマークの更なる普及推進を求める意見書
- ⑦ 地域材の利用拡大を求める意見書

県議会本会議がスマホで

ご覧いただけるようになりました。

◆6月定例会から県議会インターネット中継(生中継・録画中継)がスマートフォンやタブレット端末に対応しました。ぜひご覧ください。

福島県議会 中継

「県議会ふくしま声のたより」

をお届けしています。

◆視覚障がい者の方に「県議会ふくしま」の音声版「県議会ふくしま声のたより」をお届けしております。希望される方は、下記までお申し込みください。

- 議会事務局議事課 ☎024-521-7608
- 福島県視覚障がい者協力会 ☎024-533-4085

お知らせ

◆平成30年9月定例会は、9月14日(金)開会の予定です。

◆ご意見・ご感想をお寄せください。
TEL:(024)521-7608 FAX:(024)521-7965
メール:gikaikoho@pref.fukushima.lg.jp

◆詳しい情報は↓

◆「福島県議会フェイスブック」、「福島県議会公式チャンネル(YouTube)」もご覧ください。

携帯からは